

ISO NET

Vol.46

MONTHLY



財団法人 ベターリビング システム審査登録センター
〒102-0084 東京都千代田区二番町4番地5 相互二番町ビル7F
TEL 03-5211-0609 FAX 03-5211-0966
ホームページ <http://www.blhp.org/>

THE FRONT BUSINESS

ビジネス最前線

集団でISOの取得を目指して

社団法人 群馬県造園建設業協会

前事務局長 手島 徹



まずはじめに、ISOを取得された皆様方、おめでとうございます。

当協会のある地元前橋は、群馬県のほぼ中央に位置し、北に赤城山を望み、なだらかな南斜面の山麓と関東平野の北端の平野とからなり、利根川がここで山間部から平野部に移り、当地域の西側を分断しながら南下しています。また、県庁所在地である前橋は、群馬県の政治、経済、文化等の中心として重要な役割を担っています。

昨年の厳しい冬が去り、春の花も終わりになる頃、協会内にISO取得の気運が高まり、長年の友人であるNPO法人『ゆうゆうぐんま』の泉野氏に相談したところ、従前とは違う

形で分かりやすく取得できる方法があるとのアドバイスを受け、協会発起人の前橋園芸株式会社の中村社長と上武緑化株式会社の加藤社長の両氏が中心になり希望者を募ったところ、22社が集まりました。

ISOに関する知識など全くない状態でしたが、個々の会社に合ったISOを取得することが可能であるか、また費用についても22社が自社で出せる金額等を検討し、平成15年7月取得に向けスタートしました。

まず、22社を4班に分け、NPO法人『ゆうゆうぐんま』の先生4名を迎えてグループを構成し、きめ細かい指導を受けることを目指しました。

22社の中でISOを経験した人はほとんどなく、ISOの実体も分からず、当時は雲の上で作業をしているような感覚で、皆が皆、無我夢中で自社のマニュアルの作成に挑戦しました。

各社ごとのマニュアル作成作業は、自分の会社の目標とするものが何なのかという会社全体の考えではなく担当者の考えで始まってしまい、先生方にはその辺りで同じ指摘を何回も受けました。

各社の担当者は、休日はもちろん夜中までの作成作業で悪戦苦闘しましたが、12月には各社にあったマニュアルも出来上がり、書類審査に漕ぎ着けることができました。そして2月に本審査を受け、16年3月に全社が(財)ベターリビングから念願の認証取得を得ました。

ISOを取得した各社は、これからは「品質管理システム」を大事に育てるとともに、各リーダーは自分自身で仕事を見直し、自発的にもの考える習慣を身に付けて、更に会社としてはお客様のニーズと期待に応える造園建設業とサービスを提供し、顧客満足度の向上を達成できることを願っております。

最後にNPO法人『ゆうゆうぐんま』の先生方には、心強いご指導をいただき、本当にありがとうございました。認証を受けることができたのは、最後まで見守ってくださった先生方のお蔭と感謝しております。

また、審査に関わっていただいた(財)ベターリビングシステム審査登録センターの皆様には大変お世話になりました。感謝しております。

自社の経営と一体化したISOのシステム構築



株式会社タナベ経営
西部本部経営協力部 部長 保木本 正典

組織がISOのEMSとQMSを認証取得する目的は様々だが、その効果の度合いはトップの考え方や取り組み姿勢に大きく起因する。

ある建設業A社では、入札に有利な条件をという目的だけでQMSを認証取得していた。その結果、幹部層の規格に対する理解も全く不十分で、何とトップ不在のマネジメントレビューが平然と行われていた。そのような経営者に限ってISOは手間ばかりがかかり、効果のないものとぼやくことが多いものである。よくよくその企業を診てみると、部門や階層間でのコミュニケーションが全くとれておらず、当然のことながら機会ロスが多く、業績も悪化していた。こういった事例は残念ながらこの業界に特に多い。

私は、ISOの認証取得のコンサルティングを行って行く中で、単に認証取得しても意味がない、ISOを取って業績が悪化したというのでは本末転倒であると強く申し上げてきた。ISOは組織の体質改善に結びつけるための極めて有効な手段である。それ故、私は経営者をはじめ社員の方々に対して、まずは挨拶や時間厳守、整理整頓、「報連相」の徹底など組織人としての基本について口やかましく言ってきた。基本的なことができない企業がISOを活かせるわけがない。逆にこのような基本で当たり前のことが、当たり前のようにできるような企業になれ

ば継続的改善が期待でき、(直接の規格要求事項ではないものの)結果として審査員の印象も良く、非常に好ましい形で認証取得、そしてその後の維持ができるものといえる。

一方で、木材加工業B社では、社員の意識レベルの統一がなされているとは言い難かったが、常にトップ主導のもと、これまで行ってきたQC活動をQMS活動に置き換え、主婦や年配者、更にはパートも交えて熱心に取り組んできた。ちなみにこの会社ではこれまでQC発表会は、金融機関や取引業者も招いて行うという熱の入れようであった。

その結果、社員のレベルアップにつながり、厳しい住宅関連業界の中にありながら確実に収益基盤を確立してきた。今年では新商品のJAS取得にも取り組み、今年目標はEMSであるという。

また同じく、機器メンテナンス業C社は、昨年度末にEMSを認証取得した。取得にあたっては全社員200名ながら20名を超える委員のもと、EMSを熱心に勉強しながら取り組んだ。月2回の勉強会には社長も自ら出席され、社員と同様、最終回には理解度テストも受けられている。現在はQMSに取り組まれているが、勉強会の無断欠席はもちろんのこと、2回連続して休むと始末書ものという気合の入れ様である。最近では、ミーティングも時間厳守で行われており、会

議の始まりと終わりのケジメもつけられ、徐々にではあるが部門や階層間のコミュニケーションも良くなっている。当初に目的としていた強い体質づくりが行動を伴って実現しようとしている。

このようにEMSとQMSのいずれも経営に活かすべき点は非常に多いものである。否、むしろ経営そのものとさえ言える。例えばQMSでは、方針・目標管理が末端の社員にまで浸透されたり、業務プロセスを洗い出すことで業務改善のきっかけが生まれ、顧客満足調査から新規の顧客開拓や新商品・サービス開発のニーズ発掘が可能となるのである。

「企業は人なり」というが、人づくりとなる教育についても従来の場当たりの制度から体系的かつ計画的な教育制度へと生まれ変わる。よく見られる営業と製造のコミュニケーションギャップの解消、客観的な合否判定などの価値判断基準の統一、ファイルの整理整頓による効率的な業務遂行、内部監査による取引先与信管理等々、あげればきりが無い。

ISOは役に立たないとか重荷であるとぼやいている経営者の方々、今一度、ご自身の取り組み姿勢を謙虚に反省し、今後は是非前向きに取り組んでいただき、厳しい環境下であるだけに自社の体質強化、並びに業績向上という実のある成果に結びつけていただくことを真に願うばかりである。

今月号より掲載するこのコーナーは、有力なコンサルタントの皆様、現在ISO運用中の組織や、これからISO認証取得を目指す組織に共通する課題や問題点等について、様々な視点からの原稿をいただき掲載させていただくことにいたしました。組織の皆様共感できる事柄やお役に立つ情報が多々あると思いますのでご期待ください。

ISO9001・14001 認証登録

喜びと抱負の言葉

3月19日(金)、財団法人ベターリビング会議室において、3月度のISO9001・ISO14001の認証登録組織に対する登録証交付式を行いました。

当日ご出席賜りました各組織の代表者から認証登録を得たお喜び、抱負等についてお言葉をいただきました。これらの内容を要約してご紹介いたします。

また、ご事情により交付式にご欠席された組織の代表者からも原稿の形でお言葉をいただいております。



次の22社は、合同取得をされた(社)群馬県造園建設業協会の会員企業の皆様です。巻頭ページで語られた同協会の前事務局長、手島様のご尽力もあり、皆様揃っての認証取得、そして交付式ご出席となりました。

Q1021 株式会社 共栄緑化
代表取締役 須永 孝 様

—つくる喜び、喜ばれる喜び—

私どもの会社は、先代の父の創業から40年が過ぎようとしています。40年間も事業を行っておりますと、いろいろ脱線をしたり協道に逸れたりすることが現実に起こってきます。このような時期にISOというものがあることを紹介していただき、社内で検討し取り入れることにしました。最初はずISO導入の目的を明確化することからスタートしました。父が創業したときには、「つくる喜び」「喜ばれる喜び」からスタートしたと思います。その原点に戻り、ものづくりをする会社として社員にもその喜びを味わわせたい。そのような思いを込め、導入を決意いたしました。品質確保を図る社内ルールを確立し、「創業の精神」に戻れるよう努めてまいります。



Q1022 熊倉造園土木 株式会社
代表取締役 熊倉 弘 様

—ISOで会社力をつける—

ここ数年来私どもの周囲でもよく「ISO」の言葉は耳にしてきました。それでも当社のような小企業には無縁のもの、我々の業種で「世界標準の品質」など必要ないと思っていました。ただ今日の業界を取り巻く環境の変化の中で、当社が生き残るためにはどうするか、ただじっとしていても仕方がないと思い「組織改善の手段」としてISOの取得に挑戦いたしました。そして取り組んでみて、ISOとは外(発注者、顧客)に対してのアプローチだけでなく、内(組織作り、会社作り)に向けても重要なのだと実感いたしました。本日がスタートであると肝に銘じ、発注者の満足のみならずエンドユーザーの立場に立ち、このシステムを背伸びせず、当社にあった形で運用していきたいと思っています。



Q1023 株式会社 新栄造園
代表取締役 石川 公吉 様

—社員みんなが分かるシステム—

私どもの会社も、この規制緩和という大きな時代の流れを見極め、会社の体質を強化して生き残らなければならないと考えておりました。そのような折、ISO取得のお誘いを受けましたので、ISOによる社内のより一層の活性化と、顧客に対する満足度の向上を図りたいと願い、挑戦することにしました。しかし、ISOに取り組んでみますと、耳慣れない用語や、何度読んでも理解するのが難しい規格にぶつかり、これには参りました。それでもコンサルタントの細やかな説明や指導を受けるたび理解が深まっていきました。これからは努力して作り上げたシステムを、社員全員が分かるような形で日々運用し、会社の実力向上を図りたいと期しております。



Q1024 増尾造園 株式会社
常務取締役 増尾 雅樹 様

—会社の血となり肉となる—

桜は昨日開花宣言がなされました。私どもも登録証をいただいてその重さをずっしりと感じ、気分は満開と言いたいところですが、この数ヶ月間、管理責任者としてISOに取り組んでまいりまして感じることは、先ほど理事長さんからいただいたお言葉通り、本日がスタートであり、これからISOが我が社の血となり肉となるには、まだ桜でいう2分咲き、3分咲きといったところかと思っております。これからはこのシステムを継続的に運用し、第一線の社員から社長にいたる全社員が自らの担当業務を着実に遂行し、我が社にとってより良いISOにしていきたいと思っております。そしてISOの花が満開となることを願い、日々努めてまいります。



Q1025 丸条造園 株式会社
代表取締役 大澤 松男 様

—過当競争の時代を生き抜く—

今回の ISO 取得につきましては、コンサルタントの先生、協会の皆様にお世話になりました。誠にありがとうございました。本日、こ



のように登録証をいただくと、これからシステムに基づいて会社を運営していくことの責任感が双肩にずっしりと掛かり、身の引き締まる思いがいたします。このような緊張感を持って日々の業務を行うことが、確実な成果を生み出す原動力になるのだと思います。今後は全社員がシステムに基づいて行動し、よりよいものを作り、お客様に喜ばれる成果を出し、どんな厳しい社会情勢になっても生き残ることのできる企業となるよう、まず私がその先頭に立って進むことにいたします。

Q1026 株式会社 山田植物園
代表取締役 山田 進 様

—「おめでとう」に不安と期待—

本日こうして交付式に出席できたことを大変嬉しく思っております。コンサルの先生方やベターリビングの皆様には、大変お世話になり感謝を申し上げます。先程から「おめでとございます」と何度も言われまして、期待と不安が入り混じり、認証取得後の今後が大事であると気が引き締まる思いを感じております。我が社にルールやマニュアルがうまく作れないかと思っていたところ、ISOをうまく会社ルールとして利用できればと考え、ISO9001の認証取得を決意しました。今後もISO9001をツールとして大いに使い、利用して、社員と共に会社発展に結び付けたいと思っておりますので、今後共御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



本日は社長が所用のため、代理で参りました野村と申します。今回のISO9001の認証登録に関しましては、ベターリビングさんには大変お世話になりました。またISO導入を決定してから今日までいろいろと苦労いたしました。その都度コンサルタントの先生にご指導いただき、救われる思いがいたしました。そして取得に関しては、(社)群馬造園建設業協会の皆さんに多大なお世話いただき、大変ありがたく思ひ、感謝しております。今後はISOの継続的な運用による社業の発展と、その上でどれだけの社会貢献ができるかを考え、社員一同心を合わせて頑張っていく所存でございます。今後共皆様のご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

Q1027 株式会社 野村造園土木
統括部長 野村 年男 様

—社業の発展と社会貢献を—

本日は社長が所用のため、代理で参りました野村と申します。今回のISO9001の認証登録に関しましては、ベターリビングさんには大変お世話になりました。またISO導入を決定してから今日までいろいろと苦労いたしました。その都度コンサルタントの先生にご指導いただき、救われる思いがいたしました。そして取得に関しては、(社)群馬造園建設業協会の皆さんに多大なお世話いただき、大変ありがたく思ひ、感謝しております。今後はISOの継続的な運用による社業の発展と、その上でどれだけの社会貢献ができるかを考え、社員一同心を合わせて頑張っていく所存でございます。今後共皆様のご協力をお願いし、ご挨拶いたします。



本日は社長が所用のため、代理で参りました野村と申します。今回のISO9001の認証登録に関しましては、ベターリビングさんには大変お世話になりました。またISO導入を決定してから今日までいろいろと苦労いたしました。その都度コンサルタントの先生にご指導いただき、救われる思いがいたしました。そして取得に関しては、(社)群馬造園建設業協会の皆さんに多大なお世話いただき、大変ありがたく思ひ、感謝しております。今後はISOの継続的な運用による社業の発展と、その上でどれだけの社会貢献ができるかを考え、社員一同心を合わせて頑張っていく所存でございます。今後共皆様のご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

Q1028 株式会社 群馬緑管
工務部長 大澤 成樹 様

—サーベイランスもすぐそこに—

本日、この席に社長が立てれば良かったのですが、所用がございまして、工務部長の私が代わりに挨拶をさせていただきます。



まずISO9001認証取得ということになりまして、本当にありがたく思っております。ISO導入を決めて以来、今日までの様々な事柄を思い起こしますと、感慨もひとしおです。と同時に、最初のサーベイランスに向けて社員一同気を引き締めて社内のISOを動かし、より会社に合ったシステム、より良いシステムにしていきたいと考えております。顧客に喜ばれる仕事を行う良い会社になるため、全社を挙げてISOの仕組みに基づく確実な仕事の完遂を目指してまいりたいと思っております。

Q1029 株式会社 森緑造園土木
代表取締役 高橋 純一 様

—顧客満足第一を忘れず—

協会より声を掛けていただきまして、本日この交付式に参加されている皆さんと去年の6月以来ISO9001取得を目指して、それぞれにシステム構築に力を注いでまいりました。苦楽を共にした各社さんとうして足並みを揃え登録証をいただけましたことは嬉しい限りであり、また感謝を申し上げたく存じます。認証取得いたしましたこれからはISO9001のマニュアルを基本とし、ルール化されている内容に従い、自己満足に陥ることなく業務を進め、顧客満足第一の姿勢を忘れず頑張りたいと思ひます。言うは易し、行うは難しですが、ISOを全社員が自信を持って行動する指針として、日々努力し邁進したいと思っております。



協会より声を掛けていただきまして、本日この交付式に参加されている皆さんと去年の6月以来ISO9001取得を目指して、それぞれにシステム構築に力を注いでまいりました。苦楽を共にした各社さんとうして足並みを揃え登録証をいただけましたことは嬉しい限りであり、また感謝を申し上げたく存じます。認証取得いたしましたこれからはISO9001のマニュアルを基本とし、ルール化されている内容に従い、自己満足に陥ることなく業務を進め、顧客満足第一の姿勢を忘れず頑張りたいと思ひます。言うは易し、行うは難しですが、ISOを全社員が自信を持って行動する指針として、日々努力し邁進したいと思っております。

Q1030 上武緑化 株式会社
代表取締役 加藤 克己 様

—ISOを運用し世代交代を—

本日この認証登録をいただくにあたり、これまで社員一同大変な苦勞をしてまいりましたが、取得という目標を達成できましたことを大変喜んでおります。先程、桜の開花の話が出ましたが、私もこの会場へ来る途中車窓に映える桜を見まして、花見を兼ねて社員と盛大にお祝いをしたいと考えております。しかしこの厳しい情勢の中で、会社を存続し発展させるためには今後格段の努力が必要であり、この取得を新たなスタートとし、品質管理を徹底させ、顧客のニーズに応え得る会社にしていきたいと思っております。ただいま会員の方の中から世代交代の話が出てまいりましたが、私どももISOのシステムをしっかりと運用しながら次に継承していければと考えております。



本日この認証登録をいただくにあたり、これまで社員一同大変な苦勞をしてまいりましたが、取得という目標を達成できましたことを大変喜んでおります。先程、桜の開花の話が出ましたが、私もこの会場へ来る途中車窓に映える桜を見まして、花見を兼ねて社員と盛大にお祝いをしたいと考えております。しかしこの厳しい情勢の中で、会社を存続し発展させるためには今後格段の努力が必要であり、この取得を新たなスタートとし、品質管理を徹底させ、顧客のニーズに応え得る会社にしていきたいと思っております。ただいま会員の方の中から世代交代の話が出てまいりましたが、私どももISOのシステムをしっかりと運用しながら次に継承していければと考えております。

Q1031 群馬緑化 株式会社
代表取締役 岡田 友子 様

—ISO取得は将来への布石—

当社は、造園工事と法面工事業を営んでおります。この度協会の皆様と共に、ISO9001 認証取得に向けて努力してまいりまして、本日無事



皆様とこの交付式の日を迎えられたことを大変嬉しく思っております。経営者としての責務は、将来への布石を打つことだと考えておりますけれども、ISOの取得で新たな一手が指せたかなと思っております。経営ツールとして強力なISOを手にしたことは、これからの当社にとって心強い限りです。当社のシステムは、まだまだ改善の余地がたくさんあると思えますけれども、日々研鑽を重ねて、継続的改善をしてみたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

Q1032 昭和造園土木 株式会社
代表取締役 石橋 照夫 様

—快適で高品質な空間の創造—

私ども昭和造園土木は、(社)群馬県造園建設業協会の役員や事務局長の熱意に支えられ、また多くの皆様からご指導をいただきながら、ISO



のシステム構築を行い、本日やっここへたどり着いたという感じがいたします。最初はISOに関し何も分からず不安ばかりが先に立ちましたが、コンサルタントの先生の励ましと、共に取得を目指す仲間の皆様の頑張りが刺激となり、あきらめることなく当社独自のシステムを作り上げるために社員と共に努力し続けることができました。この認証取得を機会に、お客様に喜んでいただけるよう、更に快適で高品質な空間の創造を目指し、社員一丸となって頑張りたいと思いますので、今後共よろしく願いいたします。

Q1033 株式会社 中村造園
代表取締役 中村 日出男 様

—顧客の要望に応えるために—

私どもも、昨年6月にISO取得に向けて、システムを作り上げる作業を開始しました。しかし、先程来皆様がお話しされているように、最



初は私も社員も、ISOの規格の内容や、そこに記されている独自の用語など分からないことがたくさんありまして、このようなことでこの先大丈夫だろうかと思ったこともありました。しかし、コンサルタントの先生の熱心な指導を受けて理解を深め、また他社の皆様の頑張りを耳にして奮起、努力が実を結んだ形となりました。これからはこのように努力して作り上げたシステムを毎日運用実行し、ISOを品質向上に活用して、顧客の要望に応えるように全社員心を新たに一生懸命頑張っていきたいと思えます。

Q1034 萩原造園土木 株式会社
代表取締役 萩原 信行 様

—苦楽を共にした仲間あり—

私ども(社)群馬県造園建設業協会は業界紙として「みどり」を発行しておりますが、私が5~6年前、群馬県庁等に出向き取材をし、業界紙で



初めてISOを取り上げました。そのような関係もあり、22社でISOを取得するというお話があったときには、是非とも挑戦しなければと思えました。いま振り返ってみますと、当社のみで挑戦していたら、取得は難しかったのではというのが実感です。苦楽を共にした22社があったお蔭で、良い意味での競争という形になりました。当社の社員も、夜中の12時1時まで一生懸命頑張った。こういう努力があって皆さん、今ここにいらっやると思えます。今後はより自社に合ったISOに直しつつ、利益を生む形で進んでいきたいと思っております。

Q1035 前橋園芸 株式会社
代表取締役 中村 米男 様

—企業の原点を教わる—

私どもは、昨年7月にキックオフいたしました。ISO9001認証取得に至る経過の中で、一番印象に残っているのが、企業の原点について教



えていただいたということ。理解を深めていくなかでISOは企業経営の基本を全般的に網羅した規範であるということを感じましたが、実際自分の会社に当てはめて、システムとしてまとめようとするとなかなかうまくいかず、コンサルタントの先生には大変お世話になりました。そうしてシステムを練り直していくうちに、企業運営のルールらしきものが見えてきて、これを運用することで、品質の向上、顧客満足につながるのだという手応えを得ました。社員一同よい勉強になり、感謝をしております。

Q1036 有限会社 ウエトメ
代表取締役 澁澤 淳一 様

—繰り返し学び理解を深める—

ベターリビング、コンサルタントの先生方、そして協会の皆様には大変お世話になりました。特にISO取得という共通目的を持ち、協力し



合った協会の会員の皆さんと共に認証を取得できたことを本当に喜んでおります。よい励みになりました。昨年の夏よりISOの取得に向けて、社内の全員で取り組んでまいりましたが、初めのうちは何がどうなっているのか…、ISOの全体がよく理解できなかったというのが本音でございます。しかし、皆で何回も同じことを繰り返し繰り返し学んでいくことで、共通理解が深まり、本日の認証取得ということになりました。これからは当社の業務及び組織を継続的に改善して、お客様に信頼され、満足してもらえるよう努めてまいります。

Q1037 株式会社 高橋造園土木
代表取締役 高橋 副二 様

—勝ち組に残るための要素—

前橋市で造園土木
業を営んでおります。
近年、皆様もご存知
かと思いますが、



「勝ち組」「負け
組」という言葉が大
分叫ばれていますが、
どの会社も勝ち組に残りたいのは当
然です。私は勝ち組に残るためには、
ISOは大事な要素であると思いました。
今回、協会の呼びかけがありまして、
皆さんと一緒に認証を取得いただく
ことができ、本当に感謝しております。
ISOに取り組んでみて、その仕組みが
分かってくると、これは正に企業
経営のツールとして良くできている
と思うようになりましたが、実行し
て初めて成果が得られるものです。
これからは日々の運用により継続的
改善に努め、このISOを当社に合っ
たものにしていきたいと思います。

Q1038 株式会社 小泉農園
代表取締役 小泉 俊夫 様

—ISOこそ我が社の進む道—

今ここに立ち、ホ
ットとしています。昨
年7月に協会よりお
話をいただきまして
キックオフ、こうし
て集团でISOを取得
できたのは大変な喜
びです。当初は夜中の2時3時までマ
ニュアルを作りながらも、その意味
がわからない状態でした。しかしこ
れまで「よりよい仕事を目指し信頼
される企業となる」「社員の意識改革
をして会社と社員が成長したい」と
思っていたことがまさにISOにつな
がることに気づき、真剣に取り組み
少しずつ会社も社員も変わってきま
した。ISOを理解し、マニュアルの通
り仕事をするうちに会社の進む道も
見えてきました。「これからがスタ
ートなんだ」というのが実感です。今
日を契機にISOを当社のツールとし
て活用し、社員一同頑張っ



てまいりたいと思っております。

Q1039 新田造園土木 株式会社
代表取締役 新田 元大 様

—我が社の新しい1ページ—

大変お世話になり
ました。お蔭様で当
社新田造園土木(株)
の歴史の中に新しい1
ページを刻むことが
できました。これも
協会の手島局長のご



尽力により、22社が同時にISOを取
得して、より良い会社になろうとの
呼びかけがあったことによる賜物で
あると感謝の念に耐えません。当初は、
ISOの用語や規格の内容の厳しさに戸
惑いもありましたが、コンサルタント
の指導や、一緒に取得を目指す仲
間の会社の頑張りをしているうちに、
全社員にだんだんとやる気が湧いて
きて、今日を迎えることができました。
しかし、これからがスタートです。
より元気な会社となり、公共事業(VE
提案等)を望み、地域のお客様に喜
んでいただける仕事をするためにも
決意を新たにしていきたいと思います。

Q1040 飯塚緑地 株式会社
代表取締役 飯塚 勝 様

—社員一同ホッととして—

どうも皆さん、お
世話になりました。
本日の認証登録証交
付式に無事出席す
ることができて、
社員一同ホッとす
ているところでござ
います。お客様に喜んでいただけるよ
うな仕事を継続していきたいと思い、
ISOの取得を目指しまして、昨年7月
に初めてISOの世界に飛び込みまし
た。自分の会社に合うシステムが
作れるかどうか、そのことが頭から
離れることはありませんでしたが、
22社が力を合わせ、助け合いと競争
心が相乗効果を生み、今日まで頑張
ることができました。これからもシ
ステムの改善のために努力し、より
良い会社にするためのツールにいた
します。大変お世話になった関係者
の皆様、改めてお礼申し上げます。



Q1041 株式会社 八木造園
代表取締役 八木 公治 様

—ありがとう、ありがとう—

高崎の八木造園と
申します。私はISO
という言葉は5~6
年前に聞いていたの
ですが、意味も分か
らず過ごしてしま
した。しかし、協会
の手島局長がいらして「社長、もう
こういう時代だよ。ISOを取った方が
いいよ」とお誘いを受けました。私
はそれで取得を決意しました。手島
さん、ありがとうございました。そ
して、当社の専務と私の娘が夜遅く
まで本当に一生懸命システム作りを
してくれたお蔭だと思えます。専務、
ありがとう。今日、この会場に来て
皆さんの話を聞きまして、ISOとい
うものがこれからの企業に取り大事
なものであるとつくづく感じまし
た。局長さん、協会の皆さん、大
変お世話になりました。これからも
切磋琢磨して発展してまいりま
しょう。



Q1042 株式会社 下田工業
専務取締役 下田 一成 様

—畑違いの仲間として—

下田工業の専務の
下田と申します。ま
ず最初に、畑違いの
当社が群馬造園建設
業協会の皆様の仲間
に入れていただき、
ISOを取得できまし
たことを感謝申し上げます。どうも
ありがとうございました。ISOを取
得するきっかけとしましては、当社
もご多分に漏れず、社長から自分
に、また自分から下の代に引き継
いでいくにあたって必要なシ
ステムと見たことが一つです。それ
と社長からは、これからの厳しい
時代に少しでも利益を生み出すこ
とのできる仕組みを織り込むよう
にとの意向を受け、一生懸命勉
強いたしました。これからも社
員の教育、協力企業の教育など
を行いつつ、顧客のニーズに対
応できるようISOを活用してい
きたいと思っております。



Q986 柏崎興業 株式会社
代表取締役 柏崎 信一郎 様

—将来を考えISOに投資—

私たちの業界は公共事業を削減され、内容的にはコストダウンを迫られるという非常に厳しい状況下にあり、このような時期に投資をしてISOを取得する必要があるのかどうか、社内でもいろいろな意見がありましたが、将来を考え私が決断しました。そのような経緯から、初めはなかなか社内での意思疎通が図れませんでした。ただ社内の主だった者が揃って内部監査講習を受けた頃から全社員がISOの必要性を理解してくれるようになり、本日の交付式に至りました。現在のシステムが100%とは思いませんが、これからも全力を尽くして全社員の意識改革と継続的運用を図り、そして地域に溶け込み、お客様に満足していただける企業になるべく、更に利益の向上をも目指し頑張っております。(1月認証取得)



Q987 有限会社 中村建設
代表取締役 中村 三男 様

—この時代に必要不可欠—

今回この認証取得にあたっては、ISO取得に向かって動いているという同業他社の話や役所関係の要素もあり、「何とかしなければ」との思いで皆さんに声を掛け、7社の賛同を得ての合同取得が実現しました。私もこの厳しい時代を生き抜くにはISOは必要不可欠であると考え、従業員にも同じように自覚を持ってもらうよう、認証取得がプラスの方向へと働くはずであるとの意識改革を心掛けてきたつもりです。まずは取得、ということでスタートしましたが、これからは運用、継続そして改善ということでより大変かと思えます。私も頭を切り替えて、地域に必要とされる企業となるため一生懸命やるつもりですので、今後ともよろしく願っています。(1月認証取得)



Q988 有限会社 今野土木
代表取締役 今野 博 様

—社員一丸となつて—

当社は建設業で、土木工事を行っております。建設業を取り巻く厳しい環境の中で生き残り、事業を続けるためにはどうしたらよいかと思ひ、ISOを活用しISOによって今後の事業に役立てていきたいと思ひ、取得に踏み切りました。最初は何が何だかわからない言葉がたくさんあり、戸惑いながらもこの一年間社員は一丸となって内部コミュニケーションを図り、システム構築を推進してまいりました。私には目に見える範囲でも、社員のコミュニケーション及び向上心が出てきたと思っております。それと共に「利益を高める」という大きな目標ができました。これからの会社経営にISOを大いに生かし努力していきたいと思ひます。(1月認証取得)



Q989 株式会社 青北建設
専務取締役 附田 久志 様

—運用には工夫が必要—

ISOという言葉は十数年前から知ってはいましたが、部品会社や工場関係というところに関わるものであって、我々のような土木会社にはまず必要ないとの認識を持っていました。製品規格という面ではJIS規格があり、ISOも似たようなものと思っていたわけですが、しかし大きく違うのは、ISOはあくまで組織の動きに対しての規格ということ、勉強してみてもなるほどと納得しました。実際には運用してみて、正直なところ、やる人間とやらない人間に徐々に分かれてきますので、経営者側にも工夫が必要かと。最終的にお客様の満足度を上げる、その道具としてISOがあるという認識を早く社員に浸透させていけば、会社自体にも自然と利益が出てくるのではないかと考えています。(1月認証取得)



Q990 古館建設工業 株式会社
代表取締役 古館 允規 様

—現場でも会社でも会話が—

当社は今回7社での合同取得ということで、何とか頑張ることができたかなと思ひ、皆さんに感謝しております。ISOの説明会に出席したことがあり、いずれは当社にも必要になるという感じを受けておりましたが、中村建設の社長さんからお誘いをいただきまして「では、やろうか」ということになりました。ISOをやってみて何が変わったかという、職人気質の人間が多いためか現場でも会社でも会話が少なかったのですが、お互いに話をするようになりました。これは大きな成果だと思ひます。これからは継続の段階へ、そして利益の追求をしなければなりません。営利団体の経営者としてその辺りのことを若い人たちにきちんと話していきたいと思ひます。(1月認証取得)



Q1000 小笠原建設 株式会社
専務取締役 小笠原 等 様

— 合同取得だから取れた —

最初のコンサルテ
ィングが確か1年前
だったと思います。
もし、今回の認証取
得を私どもの会社1
社で目指していたら、
おそらく今ごろはま
だ内部監査をやっている段階だ
のではないのでしょうか。ISOに取
り組み始めた最初の頃は、たい
したことはないように思ってお
りましたが、途中からは「とん
でもないものにつけてしまった」
というのが正直な気持ちで
した。他の6社の皆様に引
っ張っていただき、予定通り
に認証取得できたことは嬉し
いだけでなく、感謝の気持ち
で一杯です。そして継続して
そのISO、これからは社内で
方向性をまとめ、また、皆
様方と情報交換をしながら、
お客様の満足度向上を図る
運用を続けていきたいと思
っております。(2月認証取得)



今回、合同取得された(社)群馬県造園建設業協会22社の皆様



三沢市商工会会議室において、共同でISO取得のアピールをする
三沢市建設業7社の皆様

Q1005 株式会社 アオバボード
函館工場
代表取締役社長 滝本 智 様

— 取得するならISO —

北海道の函館で、
住宅部材のラッピング
加工を事業として
おりますアオバボ
ード函館工場とい
います。近くにある私
どものもう一つの工
場、
上磯工場は合板工
場をやっておりま
すが、そこは20年
位前からJASの認
定工場となっております。
しかし、函館工場
は今までそういう
公の認定がなかつ
たものですから、
何か良いものがない
かということになり
皆で考えました。
そしてISOが一番
適しているのでは
ないかということ
になり、認証取得
のために協力して
やってきました。
これからがスタート
、私どもも従業員
も一丸となりまし
て、顧客満足度を
高めるという目
標を達成できるよ
う、日々努力して
いきたいと思いま
すので、これからも
よろしくお願いいたします。



Q1006 東京ガスリモデリング 株式会社
リフォーム部門
代表取締役 羽毛田 仗一 様

— 20年の実績にも危機感 —

私どもは20年ほ
ど住宅リフォームに
携わっておりますが
、昨今この業界も事
業参入される皆様
が大変増えてまい
りました。そんな
なか
で20年間の実績
にのほほんとして
はいかんという危
機感もございました
ので、ISOの品質
マネジメントシ
ステムにチャレンジ
しようということ
になり、1年間や
ってまいりました
。リフォームの仕
事というのは千
差万別、標準化し
にくい仕事です
ので、認証取得
には大変な苦労を
いたしましたが、
本日の取得を第
一步とし、更なる
品質の向上を図
ってまいります
。ご家庭という
エンドユーザー
がお客様です
ので結果がすぐ
出るため、ひと
時も気を緩めら
れない状況のな
か、顧客満足度
向上のために努
めていきたい
と思っております。



Q1007 株式会社 河合設備
代表取締役 河合 拓 様

— 使いやすいマニュアルに —

柏からまいりま
した河合設備と申
しまして、管工事
や水道施設工事
及び太陽光発電
設備に係わる設
置工事などを
行っております
。私どもは
コンサルタント
からISOを勧め
られ、詳しい話
を伺いますと、
当社の基本方針
であります顧客
満足とISOの追
求するものが同
じであるとのこと
。感動しました
。そこで早速仲
間にも声を掛け
て勉強を始めま
した。去年の5
月にキックオフ
し、本日の認証
取得に至りました
ことを本当に嬉
しく思っており
ます。これからは
難しい言葉で
できたマニュアル
を、自分の会社
に合った、使い
やすいものに直
すための努力を
一歩一歩続けな
がら、顧客満足
度を更に高めて
いきたいと思
っております。こ
れからも一つ、
よろしくお願いいたします。



Q1008 株式会社 太平エンジニアリング
冷熱本部
常務取締役 関 裕明 様

— 全社を挙げて更なる発展を —

私どもは空気調和、衛生設備の設計及び施工を事業といたしております。4年前に市場開発本部、設備部、購買部の部門において、ベターリビングさんを通じてISOの認証を受けております。今回は、新築集合住宅における給湯・暖冷房システムの部門での取得を目指し、再度認証を受けました。この部門は、主にガスを熱源とした温水式床暖房の設置、アフターサービス等の業務を遂行いたしております。今回のこの認証取得を励みとして、一人ひとりがルール通りの作業を確実に実行することを心に留め、今まで以上に顧客満足の向上を目指して、ISOの運用効率を図り、全社を挙げて更なる発展を目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



Q1010、E155 印南養鶏 農業協同組合
副組合長理事 松尾 邦光 様

— 難局を乗り切る武器 —

卵、鶏肉、その加工品を販売している養鶏専門の農業協同組合として兵庫県に居を構え、50年になります。特徴は無添加、安全、安心ということでやってまいりまして、現在、従業員が500名ほどおります。従来からTQC、ZDなどいろいろな活動をしており、それなりの成果をあげてはいましたが、どうしても製品主義といえますか、プロダクトアウトという考え方が抜けませんでした。そこで顧客満足度を追求していくISOというシステムを使って何とかできないかと思い、環境と品質の両方の取得を目指し、3月にキックオフ、本日に至りました。現在、鳥インフルエンザの影響を受け、厳しい状況にありますが、ISOのシステムを一つの武器とし、この難局を乗り切りたいと思います。



Q1011 有限会社 赤城商会
管理責任者兼品質管理部部長
本田 豊明 様

— 最強の武器として育てる —

ただいまご紹介に預かりました赤城商会の本田と申します。本日は、事情により出席できなくなりました社長に代わり、私がお挨拶させていただきます。当社は九州の熊本県天草で土木建設業を営んでいます。去年の4月にキックオフし、本日に至りますが、システム導入に取り組むにあたり、周りの企業がISOを取り入れているという噂はかねがね聞いていました。「大変だな」というのが最初の頃の本音でございましたが、やはりISOを推進していく中でも、その大変さを痛感し続けることとなりました。しかし本日何とか認証取得ということで嬉しく思っておりますが、これを我が社の生き残り戦線に向けての最強の武器となるよう育てていきたいと思っております。



Q1012 帝電設 株式会社
管理部担当部長 平野 晴三 様

— 「創業」と「守成」 —

当社は電気工事を生業にしておりますが、去年頃から業務にちょっとマンネリを感じておりました。そこで8月にISOを取ろうと決心をいたしました。約半年で今日の日を迎えることができましたが、頭に浮かびますのは「守成」という言葉です。中国の唐の国の基礎を作った名君と呼ばれる2代目皇帝・太宗は、創業や物を作るのに携わった人はそのときの苦勞、難しさを引きずりがちだが、その時期が終わったら物事を守り育てることを大切にしよう、それもまた難しいことであるということをおっしゃいました。私どもはこの「守成」という言葉を常に念頭に置きながら、QMSをより良いものにするよう、そして会社として適切な利潤が上がりますように頑張っていきたいと思っております。



Q1013 荒井設備産業 株式会社及び
関連会社(有限会社 荒井土木)
代表取締役社長 荒井 證次 様

— 意識を改革しながらの運用 —

私どもの2つの会社は、福井市で給排水・衛生設備の施工と土木構造物の施工を行っておりまして、受注先は90%が官公庁関係でございます。昨年4月にキックオフし、9001の認証取得に向けて全員が頑張ってきた結果、記録の管理という点が十分ではなかったという反省もありますが、責任の所在や管理体制が非常に明確になり、一人ひとりの仕事に対する取り組み方がこれまで以上に向上したのではないかと感じております。これからは無理をせず、意識を改革しながら自然にこのシステムを運用していければと思っております。そして品質向上に取り組んで、地域住民の皆様方とコミュニケーションを取りながら、安全で快適な工事を提供していきたいと思っております。



Q1017 株式会社 アテック吉村
代表取締役部長 窪田 博之 様

— 喜びよりも悲壮感 —

我が社は大阪の岸和田市で地盤調査、並びに設計コンサルタントを実施しております。地盤調査とは、見えないところを機械等を使って調査して地質状況を明らかにし、お客様にデータ化して渡すということで、なかなか品質というものがはっきりしにくい業態でもあります。そういう意味で我々の業界でも認証取得する業者が増えてまいりました。このたびの取得ですが、我が社では喜びというより悲壮感が漂っております。と申しますのも、やってきたこの1年間で、いまだ目的がはっきりしていない部分がたくさんあるからです。ただシステムを運用する中で、今まで隠れていた不適合な部分がかんたん出てきて、今後製品をより良くしていくいいきっかけになったことは取得の大きな意味の一つとなりました。



Q1018 京阪ソイル 株式会社
代表取締役社長 六島 廉太郎 様

—しっかりした会社組織に—

大阪で地質調査を営んでおります京阪ソイル株式会社です。ちょうど21年くらい前に、私が現場の作業にトラックと機械を持ち込んでボーリング作業をしたのが始めてございまして、会社組織にしましたのが平成5年です。何分そのような経過でできた会社ですので、組織の管理や私どもが考える経営理念の社員への浸透など、なかなかうまくいかず「どうしたもんやろう」と考えていたところ、人づてにISOの話聞き、自分なりに勉強してみました。そしてこのISOにより我々の組織もしっかりしてくるのではないかと思います、取得を目指すことにしました。これを運用することで、我々の会社の発展につながっていくのではないかと思いますので、より一層頑張っていきたいと思っております。



Q1019 株式会社 佐藤政組
工務部長 高橋 英俊 様

—再チャレンジで取得—

宮崎県の北の端、大分県との県境の延岡で建設業を営んでおります。ISO取得は長年の夢で、実は4~5年前にチャレンジしたのですがなかなか厳しく、今回昨年の6月に再スタートいたしました。しかし社員が忙しく、私が個人個人を説得して集める形になり、ISOの理解度を高めるのにも時間が掛かりました。そこで、「ISOよりも社内ルールを作ろうじゃないか。皆でやろう」と気合を入れ直し、どうにかシステムをまとめることができました。コンサルタントとの対応も初めは一方通行でしたが、最後は社員が手を挙げて、「質問」「質問」というように活気付いてきました。やっとISOという箱ができたので、今後は中身を充実させて、全員で長く続けるISOにしたいと思います。



Q1020 株式会社 マスジウ
代表取締役 増田 十郎 様

—生き残れる建設業者に—

宮崎県には980社くらいの建設業者がありますが、既に120社ほどISOを取得していると聞いております。そのISO取得につきましては、2ヵ月半で成し遂げたとか、3ヶ月で取ったとかいろいろな話を聞いておりましたが、私どもは10ヶ月間と十分に時間を掛けまして、ご縁のございましたベターリビングさんに審査をお願いし、認証を得ました。審査は厳しく行われましたが、第三者の客観的な審査は、身内では気付かなかった事柄の指摘を受けるなどの効果があると思えました。ISOの目指しているのは、品質の確保であり、これまで業界に求められていた「品質」「考え方」「理念」と変わりませんから、より良い品質を限りなく追求し、生き残れる建設業者として邁進してまいります。



Q1043 グループHiRAC
統括管理部管理責任者 松本 忠明 様

—自ら律して—

私たちは大阪府堺市、大阪狭山市、兵庫県神戸市にある生コンクリート製造会社の3工場が一つになり、グループHiRACを組織しております。工場自体はJISの認定工場、営業も協同組合に加入していることもあり、割り当てられたシェアに基づいて出荷することで、何の苦労もなくやってまいりました。今回のISO認証取得にあたっては、「努力して取得する必要もないのでは」という意見も出ました。しかし、自律して協調して生産をするという、その体制が少し揺らいでいることもあり、その必要性から取得に踏み切ることにしました。HiRACというのは若い人間に新しい未来を切り拓いていってもらおうという願いを込め、名付けました。



Q1044 第一エネルギー設備 株式会社
取締役 中内 啓夫 様

—川上から川下まで認証取得—

我々は埼玉県越谷市に本社を構える、株式会社中央住宅とポラテック株式会社を中核会社といたします分譲住宅・注文住宅を供給しているポラスグループの一員でございます。我が社は主としてプロパンガス、水道に関連する材料・工事・サービスを任されており、ベターリビング様のお世話をいただいた、グループ内で4社目の認証を取得した会社でもあります。我が社が認証をいただいたことをもちまして、ポラスグループが供給させていただく新築戸建住宅は、すべての工程においてISO認証会社によって工事ができるようになります。今後は、品質マニュアルをフルに活用し、プロセスを改善し続け、顧客要求事項を住宅品質向上のために利用し、より良い住宅・商品・サービスを提供してまいります。



Q1046 株式会社 サンレイ工業
代表取締役 山浦 克己 様

—取得することでISOを知る—

当社は、空調設備及び医療設備工事を二本立てとして、大手ゼネコンより受注・施工を行う設備下請業者であります。近年のデフレ不況の中、厳しい受注単価に大変苦労しておりますが、そういった状況下でありながら、現場では非常に厳しい品質を要求されております。当社として、彼ら顧客が何を望み、何を要求しているのかを、社内一丸となり検討する中、ISO9001の本来の姿勢を自ら取得することで研究したく、昨年7月にキックオフ宣言し、今年3月、取得に至りました。社員一人ひとりが、品質本来の姿を認識し、向上させ、当社の今後の発展につながるよう、ISOのシステムを永続していきたく念じております。



Q1048 株式会社 篠原工務店
代表取締役社長 篠原 勉 様

—120%の満足、感動、安心を—

当社は、茨城県境町を本社として、千葉県野田市、茨城県古河市に営業所を持ち、木造軸組工法住宅を施工している会社でございます。当然、現場での施工が90%を占める訳であり、品質のバラつきを無くしたいとの思いがあり、今回のISO取得に向けて、昨年4月度より取り組んで参りました。この一年間で社員個々のレベルアップが図れ、会社全体の意識も数段上がったと感じております。今回ISOの認証を取得する事ができ、更にお客様に120%の満足、120%の感動、120%の安心を持って頂けるよう、ISOを活用しまして、新しい輝きを創り出して行きたいと思っております。



Q1049 小森建設工業 株式会社
取締役 総務部 小森 優子 様

—社員の意識改革と会社の体質改善—

本日、所用があり出席できなかった社長の代理でご挨拶いたします。私どもは秋田県の能代で建設業を経営しております。昨年の5月にISOの取得に向けた取組みをスタートさせ、品質管理者を選任し、社内全体にISO推進体制を整えました。それと同時に、外部研修の参加や社内講習会の開催などをしながら、品質マニュアル作成など、諸準備を進めてまいりました。会社設立以来50数年、着実に実績を積み重ねてきましたが、更なる飛躍のために社員の意識改革や会社の体質改善を図り、管理システムを明確にすることによって今まで以上の顧客満足を目指して、地域に根ざした質の高い製品実現を続けていきたいと思っております。本日の認証、本当に有難うございました。



Q1050 株式会社 石郷岡電気工業
代表取締役 石郷岡 陽一 様

—創業30周年を機の意識改革—

当社は、秋田市にて電気設備工事業を主な業務として営んでおります。2001年の創業30周年を機に社員の意識改革を断行し、これからの多様化する時代の流れに対応できるよう、顧客のニーズに応え、顧客満足の実現を達成することを目指して、昨年の7月ISO取得に向けキックオフを宣言しました。早速推進チームを発足させ、品質マニュアル及び規定類を作成しシステムの運用を開始しましたが、結果として業務の流れが明確になり、活動の透明性が確保されたと思っております。今後とも、品質マネジメントシステムの継続的な改善を図り、品質の向上に努め、顧客の満足する製品を提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。



Q1051 両羽建設 株式会社
代表取締役 白旗 勉 様

—日々の業務に反映して—

現在の建設業を考えると、社会的ニーズに加えて社内の品質管理の向上と地域社会への貢献を求められていると思います。そのためにISOの認証が必要と思われる、取得を目指しました。最初は言葉の意味も分からず、本当にこれが必要なのか？ 会社のためになるのか？ と自問自答しながらの日々でした。今回ISO取得がゴールではなくスタートであるということを念頭に置き、顧客のため、社会のため、ひいては会社のために推進していく所存であります。今後とも全社員で品質マネジメントシステムの運用、改善を行い、日々の業務に反映して顧客満足度のアップ、品質の向上、社員の意識改革、コスト削減、安全施工、環境の改善等を目標にしていきたいと思っております。



Q1052 株式会社 大川建設
取締役部長 大川 勝也 様

—ISOで「永続的成長」を—

当社は北海道の静内町で、主に護岸、外溝、法面工事等の土木工事を行っております。昨年7月よりISO9001規格要求事項の難しい言葉に翻弄されながらもプロジェクトメンバー3人でシステムの構築に取り掛かり、社員全員に対して勉強会を行い、11月から仮運用を開始いたしました。できる限りシンプルで使いやすい仕組みをと心掛けましたが、いままで記録に残すという習慣ができていなかった部分でヌケモレが発生、内部監査などで運用状況を確認し改善を行い、ようやく審査に漕ぎ着けました。これからはISO認証取得企業として、品質の管理を徹底し、顧客の信頼に応え、顧客満足の向上を追求します。そして自社の品質方針でもあります「永続的成長」を目指し、日々努力する所存です。



Q1053 パイプシステム工業 株式会社
代表取締役社長 小谷 泰司 様

—正直、「しばらく忘れたい」—

昨年の8月に、あるお客様の採用を受ける際、ISOにおける第三者監査がありまして、ISO9001の厳しさというものを教えていただきました。そこで独学で自己流のマニュアルを作り運用し、何とかパス。非常に苦しかったのですが、これだったら思い切ってISOに挑戦しようということになり、幸い親会社である渡辺パイプの社長の後押しもあり、スタートしました。しかしISOの審査が終わった後、正直「しばらく忘れたい」と思うほど、取得に向けての日々は大変でした。しかし私どもは認証取得が目的ではなく、マネジメントシステムを運用していくことが目的でありますので、この場を借りてこのことを宣言いたしたいと思っております。



E156 イワモトエンジニアリング株式会社
代表取締役 藤原 和正 様

—継続してビジネスにつなげる—

私どもは、京都市で設備工事及び住宅設備機器等の販売を行っておりますイワモトエンジニアリングと申します。近年ますます環境に対する世の中の関心が高まってきており、社会で営みを行う者全体の責務になりつつあります。このような背景の中で、当社も ISO14001 の認証を取得してアピールし、事業を展開してまいりたいと考え挑戦を決意しました。先ほどの理事長の言葉にもありましたように、これからがスタートです。うちの会社もこれから ISO の規格に則り、気を引き締めてまいりたいと思っております。今回の ISO の認証取得、そしてシステムの継続がビジネスにつながるように、全社を上げて取り組んでまいります。よろしく願いいたします。



E157 株式会社 島川製作所 業務部
(環境管理責任者) 島川 烈 様

—環境設備で地球環境保全に貢献—

弊社は工業用の乾燥機、熱処理炉、環境試験装置等、そして病院等で使用されている滅菌器から排出される酸化エチレンガスを浄化する装置、脱臭装置等の環境設備を製造販売しております。初年度はモラル作りを中心に運用してまいりました。まだ運用を開始して約半年ですが、社員全員が慣れない書類や教育に戸惑いながらも EMS の重要性を認識してきていることを実感しています。弊社は環境方針にも掲げております「地球にやさしく」をモットーに、企業活動における環境負荷を下げるだけでなく、環境設備の商品力を向上させ、より多くのお客様にご使用いただくことにより、今後も地球環境の保全に貢献し続けていきたいと考えております。



E158 株式会社 横浜ビジネスサービス
代表取締役 右城 信裕 様

—勝って兜の緒を締めよ—

ISO 導入を目指して取り組み後しばらくの間は、とんでもないことを始めてしまったと非常に後悔をいたしました。それでも社員が頑張りましたよと言ってくださり、最初に言い出したのは私でしたから引込みもつきませんでした。認証取得の連絡をいただいたときは本当に嬉しかった。ただ、これを維持していくのがどんなに大変かということを考えると、今までのことを思い返し、本当に身の引き締まる思いがいたします。今後、品質の取得に向けても、「勝って兜の緒を締めよ」ではありませんが、頑張っ取り組んでいきたいと思っております。こうして、皆様の前でお話しできるのも、何かのご縁。これからも皆さん頑張りますようにお声を掛けてご挨拶したいと思います。



今回認証登録を受けられた Q1009 株式会社清田建設、Q1014 特別養護老人ホーム千寿荘、Q1015 上田電設株式会社、Q1016 有限会社光和電設、Q1045 株式会社高橋電気工事商会、Q1047 アオキテクノ株式会社の 6 組織は事情により、後日改めて原稿を頂戴いたします。

北から南から

この度新規に下記の53組織が登録され、
3月19日に登録証の交付式を行いました。
内訳はISO 9001で49件 ISO14001で4件
詳細はベターリビングホームページ (<http://www.blhp.org/>)
をご覧ください。

ISO9001 登録組織

株式会社アオバボード 函館工場

- 所在地/北海道函館市
- 登録内容/ラッピング加工製品の製造
- 登録番号/Q1005

東京ガスリモデリング株式会社 リフォーム部門

- 所在地/東京都台東区他
- 登録内容/住宅リフォームに関する設計、施工及び付帯サービス
- 登録番号/Q1006

株式会社河合設備

- 所在地/千葉県柏市
- 登録内容/管工事・水道施設工事及び太陽光発電設備に係わる設置工事
- 登録番号/Q1007

株式会社太平エンジニアリング 冷熱本部

- 所在地/東京都文京区
- 登録内容/新築集合住宅における給湯・暖冷房設備の設計・施工
- 登録番号/Q1008

株式会社清田建設

- 所在地/香川県仲多度郡満濃町
- 登録内容/土木建造物の施工
- 登録番号/Q1009

印南養鶏農業協同組合

- 所在地/兵庫県加古郡稲美町他
- 登録内容/鶏卵、鶏肉、食肉の加工食品の製造販売業務及び食鳥処理業務、飼料販売
- 登録番号/Q1010

有限会社赤城商会

- 所在地/熊本県天草郡有明町
- 登録内容/土木建造物の施工
- 登録番号/Q1011

帝電設株式会社

- 所在地/福岡県北九州市
- 登録内容/電気工作物の設計・施工及び消防設備の設計・施工・保守並びに電気通信設備の施工
- 登録番号/Q1012

荒井設備産業株式会社及び関連会社(有限会社荒井土木)

- 所在地/福井市他
- 登録内容/給排水、ガス、衛生設備の施工及び土木建造物の施工
- 登録番号/Q1013

特別養護老人ホーム 千寿荘

- 所在地/岡山県真庭郡八束村
- 登録内容/介護等のサービス
- 登録番号/Q1014

上田電設株式会社

- 所在地/福岡県北九州市
- 登録内容/電気工作物の施工
- 登録番号/Q1015

有限会社光和電設

- 所在地/福岡県北九州市
- 登録内容/電気工作物の施工
- 登録番号/Q1016

株式会社アテック吉村

- 所在地/大阪府岸和田市他
- 登録内容/地質調査・測量及び建築物、土木建造物の設計
- 登録番号/Q1017

京阪ソイル株式会社

- 所在地/大阪府城東区他
- 登録内容/地質調査(「7.3 設計・開発」を除く)
- 登録番号/Q1018

株式会社佐藤政組

- 所在地/宮崎県延岡市
- 登録内容/建築物・型枠工事に係る施工
- 登録番号/Q1019

株式会社マスジュウ

- 所在地/宮崎市
- 登録内容/建築物の設計・施工及びリフォーム工事
- 登録番号/Q1020

株式会社共栄緑化

- 所在地/群馬県太田市
- 登録内容/造園工事に係る施工及び付帯サービス
- 登録番号/Q1021

熊倉造園土木株式会社

- 所在地/群馬県館林市
- 登録内容/造園工事に係る施工
- 登録番号/Q1022

株式会社新栄造園

- 所在地/群馬県館林市
- 登録内容/造園工事に係る施工
- 登録番号/Q1023

増尾造園株式会社

- 所在地/群馬県邑楽郡邑楽町
- 登録内容/造園工事及び土木建造物の施工
- 登録番号/Q1024

丸糸造園株式会社

- 所在地/群馬県邑楽郡千代田町
- 登録内容/造園工事に係る施工
- 登録番号/Q1025

株式会社山田植物園

- 所在地/群馬県太田市
- 登録内容/造園工事に係る施工
- 登録番号/Q1026

株式会社野村造園土木

- 所在地/群馬県邑楽郡千代田町
- 登録内容/造園工事及び土木建造物の施工
- 登録番号/Q1027

株式会社群馬緑営

- 所在地/群馬県邑楽郡千代田町
- 登録内容/造園工事に係る施工
- 登録番号/Q1028

株式会社森緑造園土木

- 所在地/群馬県邑楽郡千代田町
- 登録内容/造園工事及び土木建造物の施工
- 登録番号/Q1029

上武緑化株式会社

- 所在地/群馬県伊勢崎市
- 登録内容/造園工事に係る施工
- 登録番号/Q1030

群馬緑化株式会社

- 所在地/前橋市
- 登録内容/造園工事及び土木建造物の施工
- 登録番号/Q1031

「JABマーク及びBLマークの表示について」のご案内を別添にて同封いたしましたのでご参照ください。

昭和造園土木株式会社

- 所在地/前橋市他
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1032

株式会社中村造園

- 所在地/前橋市
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1033

萩原造園土木株式会社

- 所在地/群馬県佐波郡玉村町
- 登録内容/造園工事及び土木構造物の施工
- 登録番号/Q1034

前橋園芸株式会社

- 所在地/前橋市
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1035

有限会社ウエトメ

- 所在地/群馬県佐波郡境町
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1036

株式会社高橋造園土木

- 所在地/前橋市
- 登録内容/造園工事及び土木構造物の施工
- 登録番号/Q1037

株式会社小泉農園

- 所在地/前橋市
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1038

新田造園土木株式会社

- 所在地/群馬県多野郡鬼石町
- 登録内容/造園工事及び土木構造物の施工
- 登録番号/Q1039

飯塚緑地株式会社

- 所在地/群馬県北群馬郡子持村
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1040

株式会社八木造園

- 所在地/高崎市
- 登録内容/造園工事に係わる施工
- 登録番号/Q1041

株式会社下田工業

- 所在地/群馬県勢多郡富士見村
- 登録内容/土木構造物の施工
- 登録番号/Q1042

グループHIRAC

- 所在地/大阪府堺市他
- 登録内容/レディーミクストコンクリートの設計・開発及び製造
- 登録番号/Q1043

第一エネルギー設備株式会社

- 所在地/埼玉県越谷市他
- 登録内容/LPガス工事・給排水衛生設備工事・住宅設備機器に係わる施工及び付帯サービス
- 登録番号/Q1044

株式会社高橋電気工事商会

- 所在地/滋賀県守山市
- 登録内容/電気設備工事に係わる設計、施工及び制御盤の開発、据付け並びに付帯サービス
- 登録番号/Q1045

株式会社サンレイ工業

- 所在地/滋賀県守山市
- 登録内容/空調設備工事及び医療設備工事に係わる施工
- 登録番号/Q1046

アオキテクノ株式会社

- 所在地/滋賀県守山市
- 登録内容/公共施設・ビル・病院等に対する設備管理業務・電気工事業務・技術サービス業務
- 登録番号/Q1047

株式会社篠原工務店

- 所在地/茨城県猿島郡境町他
- 登録内容/住宅の設計及び施工
- 登録番号/Q1048

小森建設工業株式会社

- 所在地/秋田県能代市
- 登録内容/土木構造物の施工
- 登録番号/Q1049

株式会社石郷岡電気工業

- 所在地/秋田市
- 登録内容/電気関連施設の設計・施工
- 登録番号/Q1050

両羽建設株式会社

- 所在地/山形県酒田市
- 登録内容/建築物・土木構造物の設計及び施工
- 登録番号/Q1051

株式会社大川建設

- 所在地/北海道静内郡静内町
- 登録内容/土木工事に係わる施工及び付帯サービス
- 登録番号/Q1052

パイプシステム工業株式会社

- 所在地/東京都墨田区他
- 登録内容/住宅用プラスチックパイプの加工及び住宅用給排水設備配管部材のプレセット
- 登録番号/Q1053

ISO14001登録組織

印南養鶏農業協同組合

- 所在地/兵庫県加古郡稲美町他
- 登録内容/鶏卵、鶏肉、食肉の加工食品の製造販売業務及び食鳥処理業務、飼料販売
- 登録番号/E155

イワモトエンジニアリング株式会社 本社

- 所在地/京都市
- 登録内容/設備工事及び住宅設備機器等の販売
- 登録番号/E156

株式会社島川製作所

- 所在地/大阪府寝屋川市
- 登録内容/大気汚染防止装置(脱臭装置・酸化エチレンガス浄化装置)・工業用乾燥機・環境試験機・理化学試験機の製造・販売
- 登録番号/E157

株式会社横浜ビジネスサービス

- 所在地/横浜市他
- 登録内容/サポート営業、電子機器の製造及びOA機器の販売
- 登録番号/E158